

# Hi Δ ICE

## 取扱説明書

### かき氷機

### WF-A288



## もくじ

---

安全にお使いいただくために	2
各部の名まえ	4
初めてご使用になる前に	5
主要諸元	5
かき氷を作る	6
お手入れ	9
メンテナンス	10
おかしいな?と思ったら	12
お客様ご相談窓口	13

---

このたびは電動かき氷機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、いつまでも安全にお使いください。
- この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

# 安全にお使いいただくために

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。


- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。


## 警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

## 注意

誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

 取扱においてその行為を禁止します。

 指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 警告

### ●電源コード



- ・電源コードを傷つけたり汚さないようにして下さい。
- ・濡れた手で電源プラグやスイッチに触れないようにして下さい



- ・電源プラグの差込にゆるみが無いかをよく確認してください。
- ・電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜いてください。

### ●本体



- ・湿気の多い場所や水のかかりやすい場所でのご使用はやめて下さい。
- ・子供だけでのご使用や幼児の手の届くところでのご使用はやめて下さい。
- ・製品に直接水をかけないで下さい。
- ・運転中にフタを開けたり切削室に手を入れないようにして下さい。
- ・掃除や点検などで切削室に手を入れる場合は電源を切り刃物に注意してください。
- ・屋外で使用しないで下さい。雨水など感電の原因となります。
- ・分解、改造は絶対にしないで下さい。

## 注意



- ・揮発性、引火性のあるものの近くでのご使用はやめて下さい。
- ・直射日光の当たるところでのご使用はやめて下さい。
- ・切削室に氷以外のものは入れないで下さい。



- ・丈夫で平らなところに設置して下さい。
- ・切削室内はご使用前に必ず掃除をしてください。
- ・水滴が飛散してもよい場所に設置して下さい。
- ・ご使用が終了したら安全のため電源プラグを抜いて下さい。
- ・運転中にモーターが止まった場合は電源プラグを抜き点検して下さい。
- ・使用中に本体を動かさないでください。

# 各部の名まえ



# 初めてご使用になる前に

●初めてご使用になる前や長期間ご使用にならなかった場合は、使用前に氷台、刃、氷出口を十分洗ってください。



刃先とその周辺でけがをしないよう十分気をつけてください。

## 主要諸元

モデル名	WF-A288
本体サイズ	42cm × 32cm × 88cm
電圧 / 周波数	100V/50/60Hz
定格電流	3.5A
回転数	1420rpm
定格出力	180W
氷削能力	1.5kg/分
本体質量	15kg

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

# かき氷を作る

- 水のかかる場所では使用しないでください。
- 不安定な場所では使用しないでください。

## ①受け皿をセットします。



受け皿を本体の下部にはめ込みます。

## ②刃物調節つまみを調節します。



刃物調節つまみを右に回して(時計回り)氷台より、刃がでないようにします。



氷台には刃先が出ています。刃先に触れないよう十分注意してください。

## ③氷押さえを上げます。



上げ下げハンドルを反時計回りに回して、氷押さえを上げます。

ハンドルから手を放しても、氷押さえが下がらないことを確認してください。



氷押さえにあるスパイクに触れないでください。けがをするおそれがあります。

#### ④氷を氷台に置きます。

氷の中心が、氷台の中心に来るように置きます。

##### ●氷の種類

- ・半貫(約13×13×13cm)を使用します。
- ・ご家庭で作った氷はご使用になれません。
- ・表面が少し溶けて透明になった氷をご使用ください。急激に水につけると、氷にひびがはいることがあり使用できなくなります。



#### ⚠ 警告

- ・氷台には刃先が出ています。刃先に触れないよう十分注意してください。
- ・ひびの入った氷は割れて飛び散り危険です。

#### ⑤氷を固定します。

上げ下げハンドルを時計回りに回して氷押さえを下げ、スパイクを氷に食い込ませます。



#### ⚠ 警告

- 氷押さえにあるスパイクに触れないでください。けがをするおそれがあります。

#### ⑥電源コードを接続します。

電源スイッチがOFFになっていることを確かめ、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。



#### ⚠ 警告

- ・濡れた手で電源プラグやスイッチに触れないようにして下さい
- ・電源コードに傷や変形が無いこと、プラグの差込にゆるみが無いことを確認してください。

## ⑥カップを準備します。



- ・カップなどで氷を受ける準備をしてください。
- ・氷出口に、カップがくるように置いてください。

●カップを回しながら氷を削ると、きれいに盛り付けが出来ます。

## ⑦かき氷を作ります。



- ・電源スイッチを「ON」にします。
- ・モーターが回り、氷が回り始めます。
- ・上げ下げハンドルが自動で下がります。
- ・刃物調整つまみをゆっくり左に回していくと削りだします。刃の傾きを小さくすると細かく削れ、傾きを大きくすると粗く削れます。
- 刃を出し過ぎると(1mm以上)刃の寿命が短くなります。
- 刃に氷が付着すると、かき氷の出が悪くなります。刃先だけがをしないよう、刃に付着した氷を取り除いてください。

●氷が無くなった場合でも自動に停止しません。氷が削れなくなったら、運転を停止し、氷を交換してください。



ひびの入った氷は回転中に割れて飛び散り危険です。

## ⑧電源スイッチをOFFにして止めます。

- ・電源スイッチを「OFF」にします。
- ・刃物調整つまみを右に回し、刃の傾きを小さくします。
- ・上げ下げハンドルを反時計回りに回し、氷押さえを上げ、残った氷を取り出します。



# お手入れ

## ●本体のお掃除

本体は、やわらかい布にぬるま湯をつけ拭いてください。  
汚れが落ちない場合は食器用洗剤を薄めてやわらかい布に含ませて拭いてください。

## ●氷出口のお掃除

刃及び刃の周辺のお掃除をします。

### ■お掃除の手順

① 上げ下げハンドルを反時計回りに回して、氷押さえを上げます。

② 氷台を取り外します。

- ・刃物調整つまみを左にまわし続けつまみを取り外します。
- ・氷台を固定している2本の蝶ねじを緩め、止め金具を外します。
- ・氷台を上側(氷押さえがある側)に取り外します。

刃物調整つまみを外す



止め金具



蝶ねじ



**警告**

氷台には刃先が出ています。刃先に触れないよう十分注意してください。

③ 刃及び刃の周辺のお掃除をします。



- ・刃及び刃の周辺を水洗いします。
- ・汚れがひどい場合、やわらかい布にぬるま湯をつけよく拭いてください。
- ・お掃除後、調理器具用アルコールを吹き付けてください。

#### ④氷台を取り付けます。

取り外した手順の逆の手順で氷台を取り付けます。

### ●氷押さえ、スパイクのお掃除



- ・スパイクに注意して、水洗いします。
- ・お掃除後、調理器具用アルコールを吹き付けてください。



#### 警告

氷押さえにあるスパイクに触れないでください。  
けがをするおそれがあります。

## メンテナンス

### ●刃の交換

#### ①氷台を取り外します。

氷出口のお掃除を参考に、氷台を取り外します。

#### ②刃を交換します。



- ・刃を固定している、ネジ3本を取り外します。
- ・新しい刃を準備します。
- ・刃の裏面(刃の傾斜面が無い側)が見えるように取り付け、3本のネジで刃を調整板に仮止めします。



#### 警告

氷台には刃先が出ています。刃先に触れないよう十分注意してください。

### ③刃の取り付け位置調整をします。



- ・刃調整つまみを時計回りに止まるまで回します。
- ・刃を止めているねじを少し緩め、刃の先端が少し氷台の中側になる位置に刃をセットし、ねじをしっかり締め刃を固定します。

### ④刃及び刃の周辺のお掃除をします。

- ・刃及び刃の周辺を水洗いします。
- ・汚れがひどい場合、やわらかい布にぬるま湯をつけよく拭いてください。
- ・お掃除後、調理器具用アルコールを吹き付けてください。

### ⑤氷台を取り付けます。

取り外した手順の逆の手順で氷台を取り付けます。

## ●グリスの塗布

摺動部分に月1回、グリスを塗布してください。  
※食品機械用のグリスを使用してください。

### ①螺旋軸

氷押さえを上下する螺旋軸にグリスを塗布してください。



### ②刃調整つまみ

刃物調整つまみのねじ部分にグリスを塗布してください。



# おかしいな? と思ったら

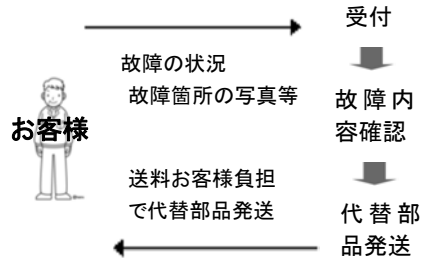
症 状	原 因	直し方
製品が動かない	電源プラグが抜けている	コンセントにさし直してください
運転中に止まった	連続運転でモーターの温度が高くなり保護回路が動作した	モーターが冷えるまで20～30分放置してください
製品は動くが氷がけずれない	刃先が十分に出ていない	刃を出してください
	刃先が切れなくなっている	刃を交換してください

# お客様ご相談窓口

まず、「おかしいな?と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

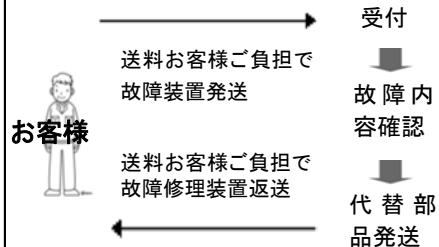
## ●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。  
送料は全てお客様のご負担となります。



## ●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。  
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



## 修理、部品に関するご相談

修理、部品を依頼される時は  
下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ ご購入サイト、年月日
- ④ お名前、ご住所、電話番号

## 修理 使い方などのご連絡窓口

お問い合わせ窓口

TEL 0276-55-2275

FAX 0276-55-2276

メール support@haige.jp

住所 〒370-0503 群馬県邑楽郡  
千代田町赤岩3072-3





**Hi Δ ICE**

ハイガー産業株式会社